

<就職先企業アンケート調査 実施概要>

愛知文教大学 キャリアセンター

【調査の概要】

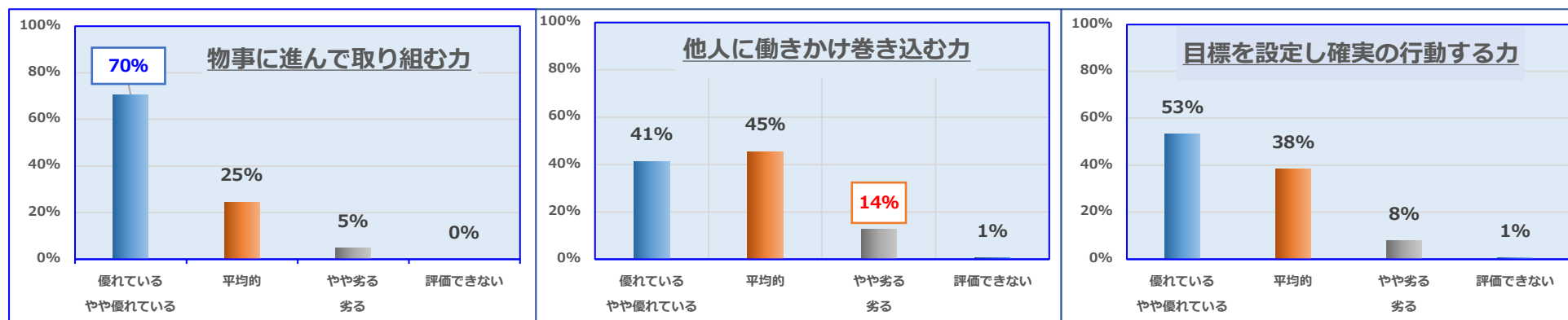
1. 目 的 本学の教育課程において、基礎的な学力（教養・知識）を身につけ、その学力を基に判断力・思考力・表現力等を養い、社会の変化に対応しながら、主体的に行動し社会で活躍できる人材育成が不可欠である。
本調査の実施により、大学に対する企業からの評価（社会的評価）や本学へのニーズ等を測り検証し、今後の教育研究活動や就職支援の改善に資することが目的である。
2. 調査対象 2019年度から2023年度（5年間）に学生が就職した主な企業累計「204社（学生数231名）が対象」
3. 調査時期 毎年7月若しくは8月
4. 調査方法 郵便で配布し、郵便・FAXで回収「アンケート用紙、返信用封筒を同封。未提出企業には電話にて依頼」
5. 回収率 企業 75.5%（154社/204社） 就職者 73.6%（170名/231名）
6. アンケート調査項目
 - (1) 社会人としての基礎的な能力（12項目）
 - (2) 知識・教養・技能（7項目）
 - (3) 外国語運用能力（3項目）
 - (4) 採用にあたって、どのような点を重視されますか（5項目）
 - (5) 学生生活を通じた人間形成について、本学はどの分野の支援を充実させることが望ましいと思われますか（5項目の中から3項目選択）
7. 就職先企業訪問による主なヒアリング結果 「2019年度から2023年度に調査した企業（51社）」

1. アンケート調査項目 2019 年度～2023 年度 5 年間の累計（各グラフは企業アンケートによる学生の評価）

（1）社会人としての基礎的な能力

地域社会や職場のなかで多様な人々と共に仕事を行っていく上で、自らの能力を最大限発揮し、普遍的に求められる社会人としての基礎スキルが社会人基礎力であり、その基礎力は、下記 A～C で構成される。

A.前に踏み出す力（アクション）「下記調査グラフ項目」は、主体性・働きかける力・実行力で構成され、組織のなかで仲間と協力しながら粘り強く仕事に取り組む力を示している。



【アンケート結果からの所感】

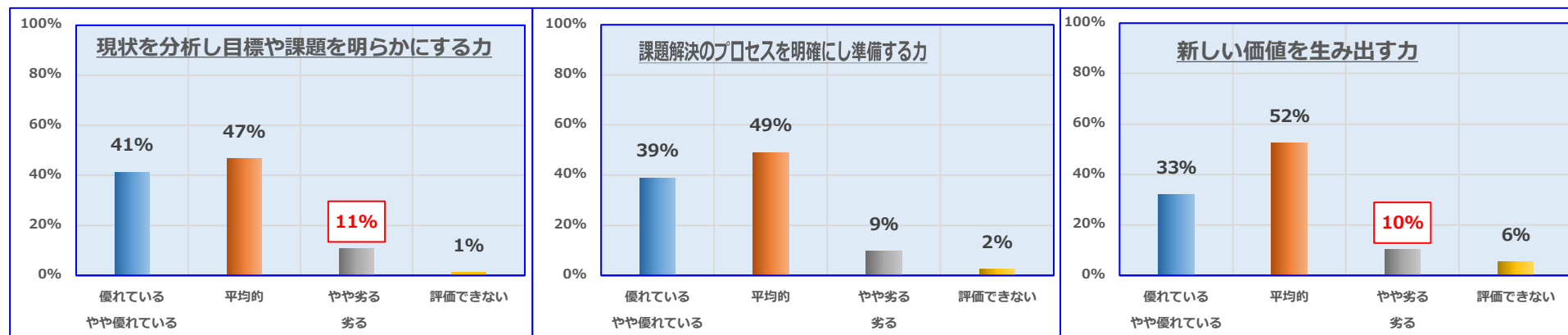
「前に踏み出す力（アクション）」の項目で、優れていると評価を得た項目は、「物事に進んで取り組む力」であり、70%の企業から良い評価を得ている。本学学生は、指示を待つのではなく、自ら積極的に行動する姿勢を表している。

また、他の項目についても平均的以上の評価を得ているが、「他人に働きかけ巻き込む力」については、「やや劣る・劣る」が14%で期待値を下回る回答であった。

学生時代の人間関係は、仲の良い友人と接することが多く、敢て他者を巻き込むことが少なく、対人関係に慣れていないことに起因していると推察するが、社会人になることで立場や考え方の違う人々と接することが多くなり、人生経験を重ねるに従い改善できるものと考えられる。

B. 考え抜く力（シンキング）

「下記調査グラフ項目」は、課題・問題発見力、計画力、創造力の要素で構成され、何ごとにも疑問を持ち考え抜く力で、改善するための課題解決策を見つけるためのプロセスを明確にして、実践できる力を示している。

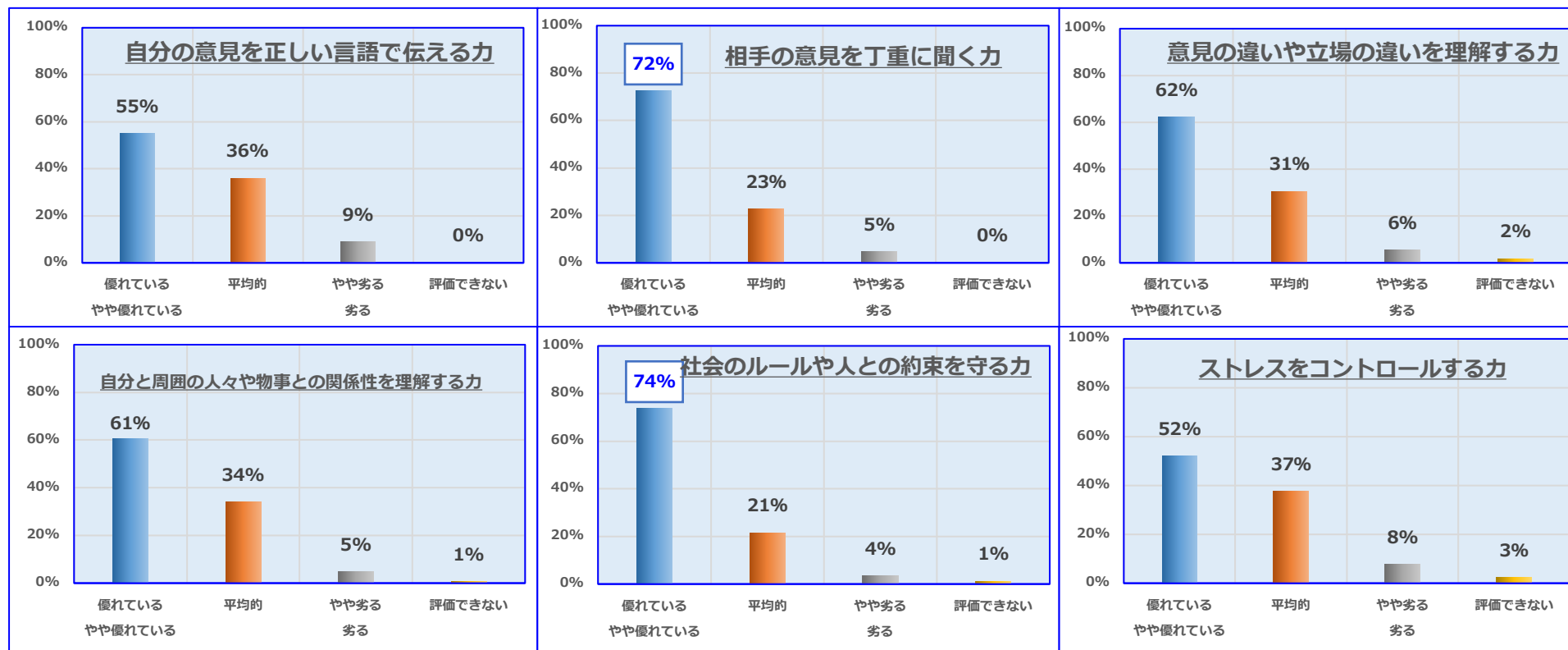


【アンケート結果からの所感】

「考え抜く力（シンキング）」の項目は、全ての項目で平均的以上の評価を得ているが、各項目の評価で、やや劣る・劣るが11%前後あり、若干高く気になるが、学生生活を送るなかで「常識にとらわれず、どうしてこうなるのか」を日々意識しながら生活する習慣を持つことで改善が図られると思われる。

C.チームで働く力（チームワーク）

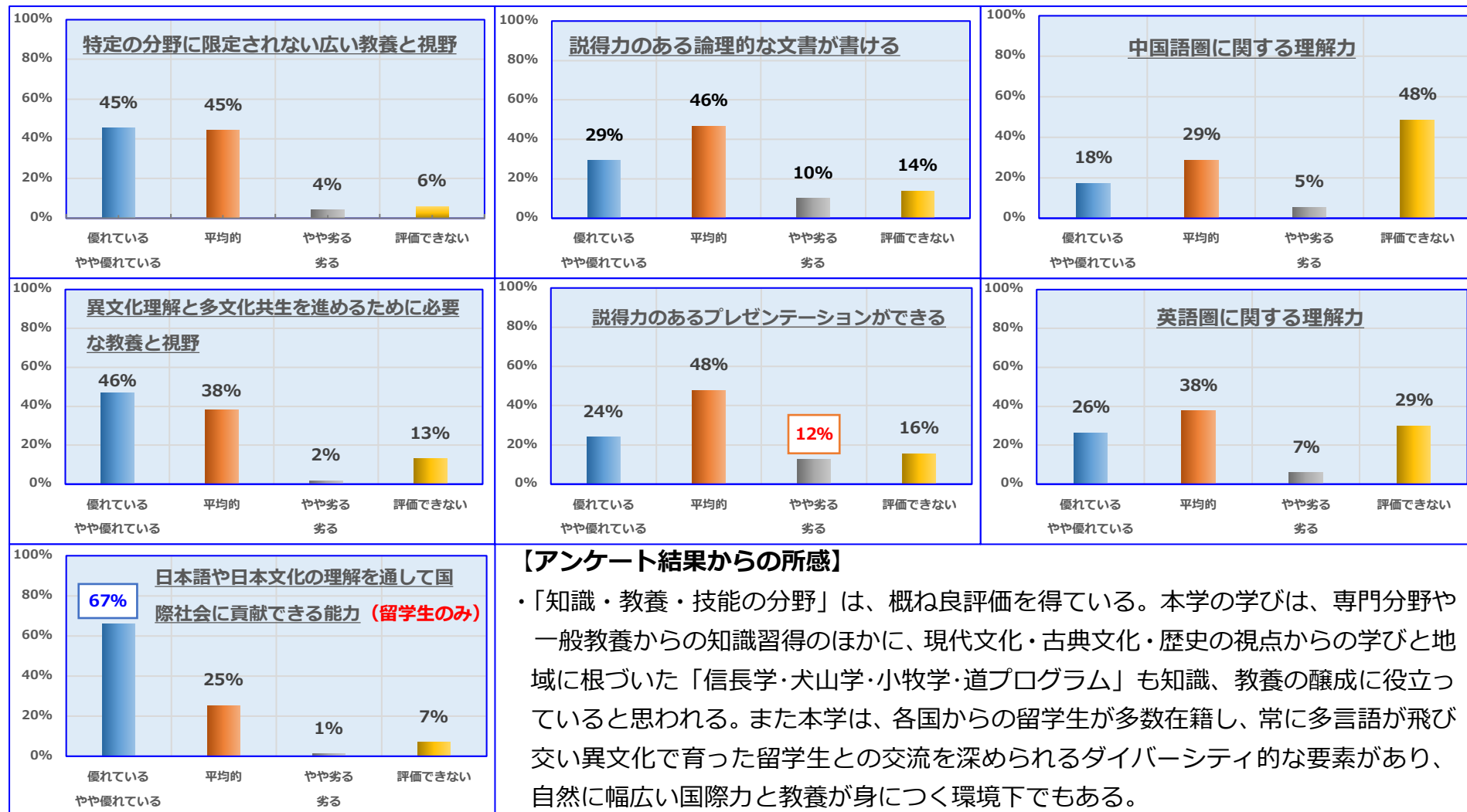
「下記調査グラフの項目」は、発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性・ストレス抑制力で構成され、組織内グループや多様な人々と目標に向けて協働・協力する力。



【アンケート結果からの所感】

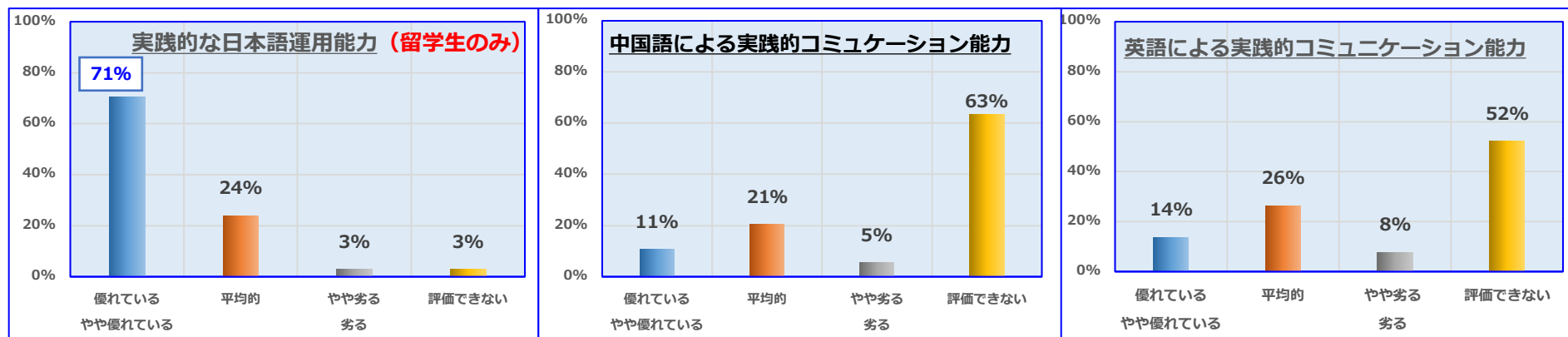
「チームで働く力（チームワーク）」の項目に於いては、本学学生の評価は、総合的には良い評価を得ている。特に「相手の意見を丁寧に聴く力（傾聴力）」が72%、「社会のルールや人との約束を守る力（規律性）」が74%と企業から良い評価を頂いている。この二つの項目は、相手の意見を丁寧に聴き、相手が話しやすい環境をつくる能力や社会の常識的なルールを守る力であり、総じていえば、意見や立場の異なるメンバーも尊重しつつ、自分の意見を的確に伝え多様な人々と共に目標に向けて協力するコミュニケーション能力を示している。

(2) 知識・教養・技能



- ・留学生対象の項目「日本語・日本文化の理解を通して、国際社会に貢献できる能力（留学生のみ）」については、優れていると評価した企業は67%と良い評価を得ている。このことも上記で記述したことに起因していると思われる。「説得力のあるプレゼンテーションをすることができる」の評価で「やや劣る・劣る」が12%と回答した企業の割合が若干高くなっているが、本学で意識的に継続実施している能動的に学修する「グループディスカッション、グループワーク、ディベート体験等」のアクティブ・ラーニングを取り入れた授業を今後更に充実することで改善に繋がるとと思われる。

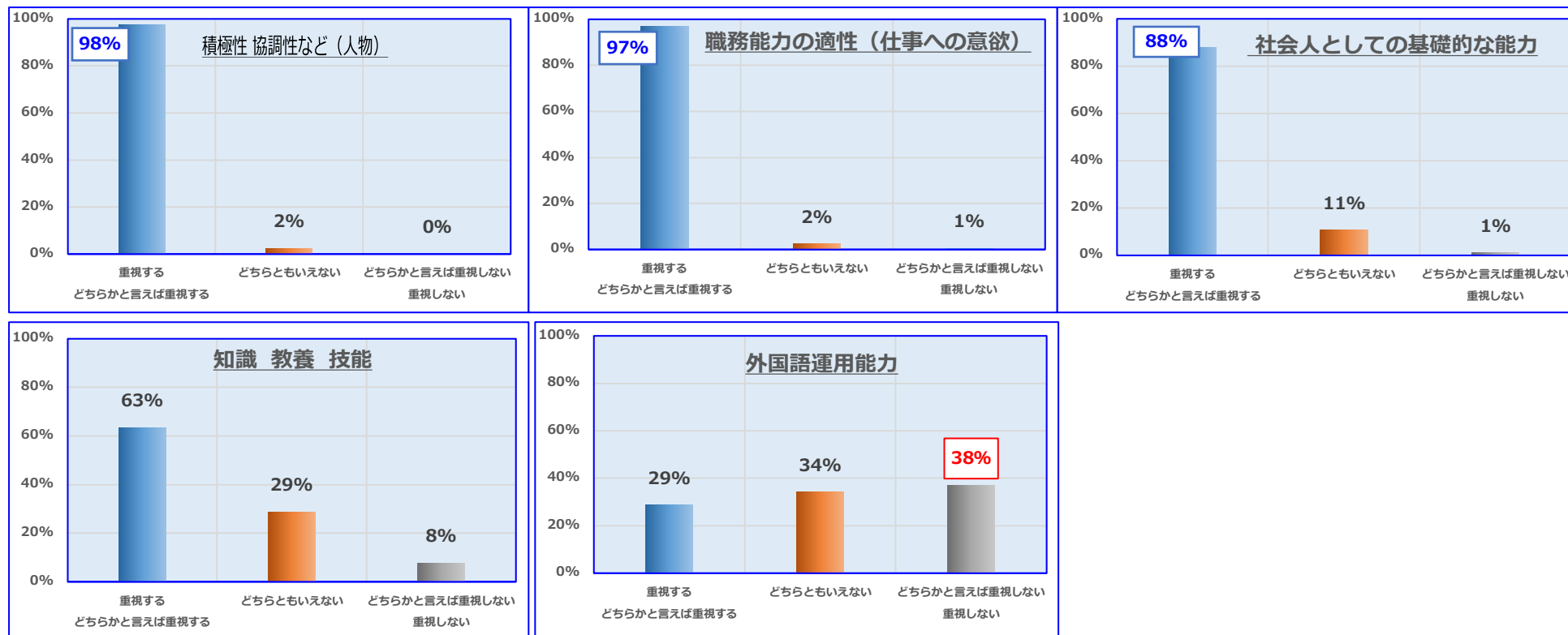
(3) 外国語運用能力



【アンケート結果からの所感】

- ・留学生への質問項目の「実践的な日本語運用能力（留学生のみ）」については「優れている、やや優れている」と回答した企業の割合が71%と高い評価を得ている。この要因として、留学生と日本人学生との多文化共生の環境下で、日本語能力が必然と身につく表れである。また、アルバイト経験も日本語能力を高める要因になっている。
- ・「英語による実践的なコミュニケーション」と「中国語による実践的なコミュニケーション」項目の設問で評価できないと回答した企業が多くなっているが、企業の日常業務で、中国語・英語を活用する機会が少いために評価できないと回答した割合が高くなったと思われる。

（４）採用にあたって、どのような点を重視されますか。

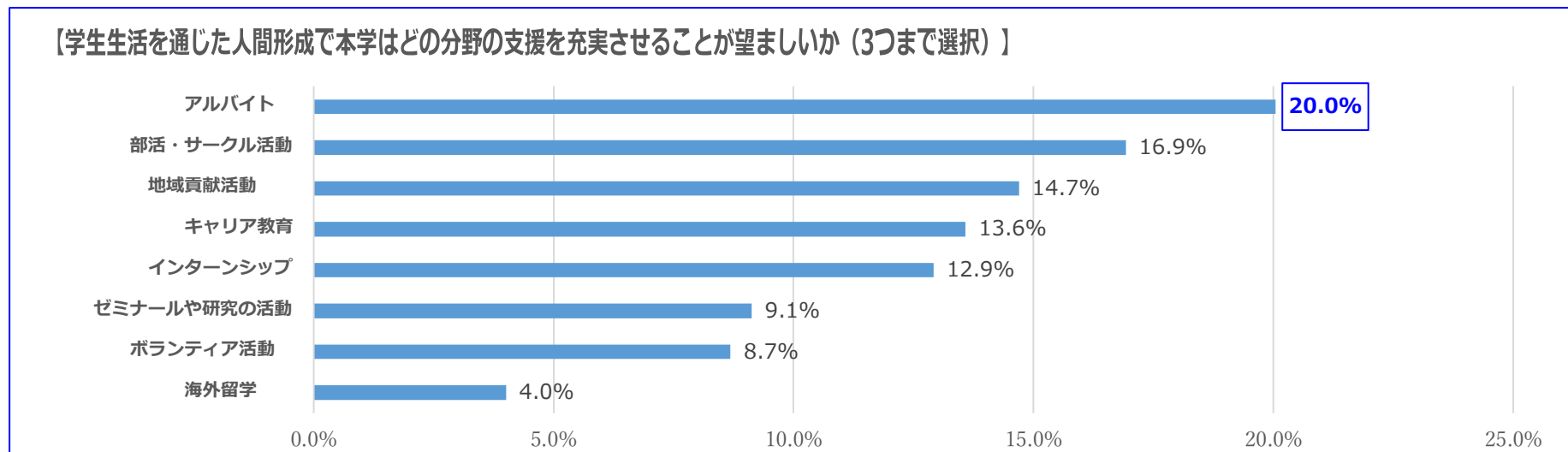


【アンケート結果からの所感】

- ・採用にあたって、企業が重視する項目として「積極性・協調性（人物）」98%、「職務能力の適性（仕事への意欲）」97%、「社会人としての基礎的な能力 88%」の3要素に力点を置いていることが分かる。
- ・外国語運用能力の項目で「どちらかと言えば重視しない、重視しない」が38%で、必ずしも肯定的ではないが、国内におけるグローバルなビジネス展開は、持続的成長の実現に向けて重要な企業活動の一つとなっており、グローバルに活躍できる人材の育成は企業経営上の重要な課題であり、外国語教育は大学における学修として継続的に学ぶことが求められていると思われる。

(5) 学生生活を通じた人間形成について、どの分野の支援を充実させることが望ましいと思われますか。

(8項目を選択肢とし、3つまで選択可とした。)



【アンケート結果からの所感】

- ・回答のうち、上位を占める項目は、アルバイト、部活・サークル活動、地域貢献活動が上位を占めている。特にアルバイトを選択する企業割合が、20%と高く、学生時代に企業や仕事に触れ合える貴重な体験と実際に働くことで、社会の機微を知り対人交渉能力や責任感、社会性等を養い社会経験を積んでほしいとの表れであると思われる。
- ・以上のアンケート結果や企業訪問ヒアリングでは、「課題を発見し解決する力」や「コミュニケーション能力（チームワーク力）」を求める企業が多くあった。これまでの大学教育では、専門教育、一般教育等を身につけることが主体であったが、企業からは課題（問題）の発見と解決力の学習など社会性を学ぶ教育を求める声も多く寄せられた。大学教育のなかで、アクティブラーニング等のグループで学ぶ機会の更なる創出とグループ内で学生自身の考え方や意見を発表、集約する機会を更に多く持つことが求められていると感じた。

2.就職先企業訪問によるヒアリング結果（主なもの）

毎年行っている就職先企業アンケート調査を補完するため、学生が就職した企業を訪問し、本学卒業生の勤務状況・採用満足度や採用にあたって学生に求めることなどを企業の採用担当者にヒアリングを行い企業が求める人物像の深掘りを行った。

【2020 年 3 月卒 学生の就職先企業からのご意見】

- ・「日常の挨拶、感謝、お礼の言葉、約束を順守する」などの基礎的能力を持ち自己成長すると言う考えを持っている人材。
- ・パワーポイント、パソコン操作、ZOOM利用等のICTリテラシーを操作できるスキルを持つ人材。（留学生）
- ・将来のビジョン・目標などを立てる能力や自主的、能動的な姿勢で取り組む能力を身につけることが出来る大学教育に期待したい。
- ・画一的でなく個性がある人を求める。加えて、主体性を発揮して自分が何をすべきなのかを考えながら行動できる人材を望む。

【2021 年 3 月卒 学生の就職先企業からのご意見】

- ・社員に求めることは、言われたことだけではなく、自分から能動的に動ける人材を求める。「先を見て過去を振り返りながら仕事に傾注できる」ことが大切と考える。
- ・主体性をマストとしている。また、通信業界としては、情報収集力がもっとも重要であり、インターネットからの情報は勿論であるが、現地現物ができる人材を求めている。
- ・漢字の読み書きができること。基本的な業務は接客であるので、コミュニケーションをスムーズに取ることができることが必要。日本語の助詞や接続詞を間違える留学生が多い。このことは、接客業に於いては、言葉のニュアンスの違いでミスコミュニケーションが起こってしまうため。（留学生）
- ・留学生を採用にあたっては、積極性があり、社会に通じる日本語能力（N2以上）やエクセル・ワードができ更には漢字の読み書きができる人材を望む。（留学生）

【2022 年 3 月卒 学生の就職先企業からのご意見】

- ・自己肯定感を持ち自信をもって仕事に邁進する学生を望む。社会性のある学生は、即戦力として活躍できるので大学教育に於いては社会人基礎力を発揮できる学生を育ててほしい。
- ・留学生は、母国と日本の文化が違いため、自己都合で物事を決めることが多い。「時間にルーズ」、「連絡しても返事がない」など日

本のルール、マナーを大学時代にしっかりと学ぶことが必要。また、就活に際して「学校、留学生、企業」との関係性を教えることも重要と思う。日本人学生に求めることは、どんな仕事も受け入れることや「やってみます」等のチャレンジ精神が必要。

- ・コロナ禍で表情が見えない時代の中で生きてきたため、コミュニケーションが取れない学生が多い。そのため、留学生・日本人学生共に求めることは、チームワーク（協働性）能力の高い人材を選考している。
- ・学校教育から一歩踏み出した経験を重視。例えば、アルバイト、部活等の活動を多く経験している人材をマストとしている。
- ・面接では、ガクチ力、志望動機を必ず尋ねる。その際、物事を体系的に整理して筋道を立て、回答する学生を採用候補者とし選考している（ロジカルシンキング）。また、忍耐力があり逆境に耐えられる人材を望む。
- ・会社説明会終了後、先輩社員との交流会を開催している。その際、社内に溶け込めやすい人材か、周りに気配りや思いやりがあるかどうかを見極めるようにしている。

【2023 年 3 月卒 学生の就職先企業からのご意見】

- ・店舗スタッフであるので、お客様に明るく対応できる方やチームで仕事をするため、お客様から受けたクレーム等や自身の悩み事を素直に相談することが大切。ネガティブをポジティブにかえられる方がマスト。
- ・チャレンジ精神をもって何事にも一歩踏み出すことができる人材を求めている。自身の殻に閉じこむことなく、部下が自発的な活動することで、上司を動かすことができ、社内の活性化に繋がってくる。
- ・人と向き合う仕事であるため基本であるコミュニケーションが取れる学生を求める。更に与えられた業務外のことにも興味を持ち取り組むことができることが大切。指摘されても素直に受け止められる人材。キーワードとして「素直、元気、笑顔」で何事にも取り組める人材を求めている。
- ・物を売る仕事ではなく様々なセクションの方と会話するためコミュニケーション力がある学生を求めている。また、色々なことに興味が持てるかどうか、周りが見えているかどうかを見ている。他者への気遣いができる学生を優先的に採用している。
- ・留学生については、日本の文化に順応し、マナーを守れる学生がマスト。日本人学生の採用基準は、色々なことに興味が持てるかどうかを見ている。また、周りが見えて、人に気遣いができる学生を優先的に採用している。素で面接できることが大切。
- ・素直さがある学生。学業以外の経験（部活、アルバイト、ボランティア）が多くある学生が良い。また大学として、社会人基礎力に沿った学修も取り入れてほしい。

- ・経験の中で成功、失敗体験をどう解決しなのを得たかが大切。また何事にも継続して行動できる学生を望む。

【2024 年 3 月卒 学生の就職先企業からのご意見】

- ・会社の看板を背負っているためお客様に笑顔で接客ができるかを見ている。表情が豊で「演じてくれる人材」が必要。ストレスを感じながら人は成長すると思っている。大学ではグループワーク等のアクティブラーニングの機会を多く持ってほしい。
- ・チームで仕事を行う前提として、コミュニケーション力が大切。また、主体的に発信する力が必要であり、受身ではなく自分から行動でき、常に「報連相」を意識できる学生を望む。
- ・規律規範を守れる人材であってほしい。諦めることは自分の限界をつくることになるので諦めない人材になって欲しい。嫌なことや嫌いなことに敢てチャレンジしてほしい。自分自身への課題をつくり努力してほしい。
- ・すべての職種に通じることは、素直で真面目であることに尽きる。
- ・企業理念に沿った見方をしている。仲間のため（チーム力）や素直さ誠実さがある学生を求めている。また、言葉と行動に一貫性があること。
- ・コミュニケーション力と目標設定して動けるかを重視している。飲食店だから体力でその場をしのぐ仕事をする人は求めておらず、入社後のビジョンをしっかりと持って、それに向かって仕事ができる人を求める。
- ・多様な人材と会話ができるコミュニケーション能力を持っているかを見極めている。文系出身の学生との面接では、物づくりに携わりたいロジックがあるか等の「働く目的」が明確になっているかを見ている。
- ・エピソードトークが語れる人材。そのためには、学生時代にアルバイト、サークル活動などを行なっていることが大切。
- ・経験のなかで、成功・失敗体験を経て、何を得て解決してきたかが大切。また何事にも継続して行動できる学生を望む。
- ・社会人としてのルールを守れることが一番であることや、自分がやってみたいことを自身で考え、行動できる人材を求めている（自己探求ができる人材）・パソコン（ワード、エクセル、パワポ）の操作がそれなりに出きること。
- ・主体的に活動し探究学習できることが大切。I Qより、対人関係、対人能力を良好に発展させる基礎能力とされているE Qを持ち合わせた人材を望む。